SL-700S

正統を歩む
本格派だけに許された格調を示しつつ
ギタリストの意のままに
多彩な、オリジナルな音創りを可能にした
待望のオープンハンバッキングモデル
パイサウンドシステム内蔵

マイク＝ハンバッキングL-Ⅲ×2
胴＝メープル＋マホガニー
枠＝メープル／指板＝ストライプドエボニー
胴-枠＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整つき
弦＝H1060／重量＝4.3kg
¥70,000

(RS) レッドサンバースト

(BS) ブラウンサンバースト

SL-700

柔らかく深みのあるディストーション
ポジション移動がスムーズな
エボニーのフィンガーボード
レッドサンバーストのボディに
ゴールドプレートのピックアップが映える
グッドルッキングモデル

マイク＝ハンバッキングL-1×2
胴＝メープル＋マホガニー
枠＝マホガニー／指板＝エボニー
胴-枠＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整つき
弦＝H1060／重量＝4.3kg
¥70,000

(RS) レッドサンバースト

SL-650

メープル＋マホガニーのボディに
マホガニーネック
粘りある甘いトーンはより表情豊か
密度の濃いハンバッキングサウンドを
プレゼンスよく弾きだす本格モデル
ピックアップはゴールドプレート

マイク＝ハンバッキングL-1×2
胴＝メープル＋マホガニー
枠＝マホガニー／指板＝ローズ
胴-枠＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整つき
弦＝H1060
重量＝4.3kg／¥65,000

(BL) ブラック

カスタムタイプ
黒のピックガードが生印。柔らかく深みのあるメロウな音を生むマホガニーネックを採用。(SL-1200, 1000, 700C, 700, 650, 550)

スタンダードタイプ
白のピックガードが生印。力強く張りのあるアタッキーな音を生むメープルネックを採用。(SL-800S, 800, 700S, 600S, 500S, 400S)

オープンハンバッキングピックアップ
パワーにあふれた分厚くヘヴィなサウンドが特徴の新開発のオープンハンバッキングL-Ⅲ。ヤマハが誇るラミネート削出しボディとマッチングのよさはまさに一級品。(SL-700S, SL-500S)

カバードハンバッキングピックアップ
サスティンの効いた唱きのよさ、甘さの中にも歯切れよさを秘めたサウンドが特徴。新開発のL-Ⅳ, L-Ⅴを加えカバードタイプのLシリーズマイクは実に4機種、まさにチョイスフリーの布陣。(SL-1200, 1000, 800S, 800, 700C, 700, 650, 600S, 500, 400S)

パイサウンドシステム
Toneつまみを押すだけでハンバッキングピックアップからシングルポビンの音が飛び出し、ライブパフォーマンスは飛躍的に向上。(SL-900S, 700S, 700C)

SL-700C

マホガニー素材の特性が活きる
甘く粘りのあるサウンドは
パイサウンドシステムを得てよりカラフル
リードプレイであれバッキングであれ
華麗なステージパフォーマンスを約束する
ハイクラスユーザーのための1本

マイク＝ハンバッキングL-Ⅳ×2
胴＝メープル＋マホガニー
枠＝メープル／指板＝ストライプドエボニー
胴-枠＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整つき
弦＝H1060／重量＝4.3kg
¥70,000

(RS) レッドサンバースト

(BL) ブラック

SL-600S

オーソドックスなスタイル
オーソドックスなボディコンストラクション
時にライブステージで
時にスタジオセッションで
スタッフの信頼を一身に集める
完成度の高いミドルクラスモデル

マイク＝ハンバッキングL-Ⅱ×2
胴＝メープル＋マホガニー
枠＝メープル／指板＝ローズ
胴-枠＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整つき
弦＝H1060／重量＝4.3kg
¥60,000

(RS) レッドサンバースト

(TS) タバコサンバースト

SL-550

シャイニーブラックの精悍なボディ
ベストチューニングを約束する
ダイキャスト製のブリッジおよび
トルク調整つき糸巻
サスティンの効きのいい
音量感たっぷりのサウンドが身上

マイク＝ハンバッキングL-Ⅱ×2
胴＝メープル＋アガチス
枠＝マホガニー／指板＝ローズ
胴-枠＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整つき
弦＝H1060／重量＝4.3kg
¥55,000

(BL) ブラック

SL-500S

奔放なチョーキングプレイも
確実にこなす細心のフレット仕上げ
ロックの原点を踏まえ
ワイルドに、パワフルに
攻撃的なフレージングで迫る
オープンハンバッキングモデル

マイク＝ハンバッキングL-Ⅲ×2
胴＝メープル＋アガチス
枠＝メープル／指板＝ローズ
胴-枠＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整つき
弦＝H1060／重量＝4.3kg
¥50,000

(RS) レッドサンバースト

(BS) ブラウンサンバースト

SL-500

ワンクラス上のセットネック方式
ハイポジションでのフィンガリングは
よりスムーズ、より確実
タイトなハンバッキングサウンドが
思うがまま痛烈する
ハードロック指向モデル

マイク＝ハンバッキングL-Ⅱ×2
胴＝メープル＋アガチス
枠＝メープル／指板＝ローズ
胴-枠＝セットネック
糸巻＝ヤマハダイキャスト・トルク調整つき
弦＝H1060／重量＝4.3kg
¥50,000

(BS) ブラウンサンバースト

(RS) レッドサンバースト

SL-400S

正統の手法を受け継ぐ
ラミネート削り出しボディの本格派
リッチなハンバッキングサウンドが
ロック魂をゆさぶる
ビギナー必携の
ハイコストパフォーマー

マイク＝ハンバッキングL-Ⅱ×2
胴＝メープル＋アガチス
枠＝メープル／指板＝ローズ
胴-枠＝セットネック
糸巻＝デタッチャブル
弦＝ヤマハダイキャスト・トルク調整つき
弦＝H1060／重量＝4.3kg
¥40,000

(RS) レッドサンバースト

(BL) ブラック

(BS) ブラウンサンバースト

オーバーバインディングフレット
フレットを有効長いっぱいに延長し弦落ちを防止。チョーキングやビブラートはより確実。(SL全機種)

ダイレクトスタッドブリッジ
スタッドボルトによりボディに直接打ち込まれたブリッジ。弦振動は直接ボディに伝わり、音はよく伸びサスティン効果も倍増。(SL全機種)

Q. ピックアップの特性を決めるのは何？　A. 構造および素材だ。まず構造による違い。シングルポビンはピックアップの基本型で磁石のまわりにコイルが巻いてあるだけのもの。高域が美しく出力が小さい。これに対しハンバッキングはコイルが2つありノイズを消去するしくみになっていて、高域が落ちて太い音色になり出力も大きい。同じハンバッキングでもオープンタイプとカバードタイプでは、磁力線を大きく妨げる金属カバーのあるカバードタイプの方が少し太い音色になる。次に素材による違いだが、まず磁石。磁力が大きいほど出力が大きい。また合金の成分によっても音が変わる。さらにコイルの巻き線密度。巻線が多いほど出力は大きく、線径が太く巻線が少ないほど高域が出るようになる。